

問題 - 1					
平成 9 年度	あなたが受験申込書に記した「 <u>専門とする事項</u> 」について、	あなたが携わった業務のうち、	技術士にふさわしいと思われる 1 例を挙げて説明するとともに	現在の技術水準からみた評価及び今後の展望を述べよ。	専門とする事項 携わった業務 技術士にふさわしい 現在の技術水準からみた評価 今後の展望
平成 10 年度	〃	あなたが取組んだ業務のうち、	技術士として最もふさわしいと思われる事例について、その <u>技術的内容</u> を説明するとともに、	その成果の現時点における評価及び今後の課題について述べよ。	専門とする事項 取組んだ業務 技術士として最もふさわしい 技術的内容 現時点における評価 今後の課題
平成 11 年度	あなたが受験申込書に記入した「 <u>専門とする事項</u> 」について、	〃	技術士として最もふさわしいと思われるものを選び、その <u>課題、対策、成果などの技術的内容</u> を説明するとともに、	現時点での評価及び今後の展望について述べよ。	専門とする事項 取組んだ業務 技術士として最もふさわしい 課題、対策、成果などの技術的内容 現時点での評価 今後の展望
平成 12 年度	〃	〃	技術士にふさわしいと思われる 1 例を挙げ、その <u>課題、対策、成果などの技術的内容</u> を説明するとともに、	〃	専門とする事項 取組んだ業務 技術士にふさわしい 課題、対策、成果などの技術的内容 現時点における評価 今後の課題
平成 13 年度	〃	あなたが取組んだ業務のうち 1 例を挙げ、	技術士にふさわしいと思われる理由を述べ、その <u>課題、対策、成果などの技術的内容</u> を説明するとともに、	今後の課題及び波及効果について述べよ。	専門とする事項 取組んだ業務 技術士にふさわしい 課題、対策、成果などの技術的内容 今後の課題 波及効果
平成 14 年度	〃	あなたが取組んだ業務のうち、	技術士にふさわしいと思われる事例を 1 つ選び、 <u>技術的な課題、対策、成果などの内容</u> を説明するとともに、	あなたが考えている現時点での評価及び今後の展望について述べよ。	専門とする事項 取組んだ業務 技術士にふさわしい 技術的な課題、対策、成果などの内容 現時点での評価 今後の展望

問題 - 1					
平成 15 年度	"	あなたが <u>技術的責任者又は担当者として取組んだ業務のうち</u>	<u>技術士としてふさわしいと思われる事例</u> を1つ選び、 <u>技術的に内容を説明するとともに、</u>	<u>現在の技術水準に照らして評価を行った上、今後の展開方向について述べよ。</u>	専門とする事項 責任者又は担当者として取組んだ業務 技術士にふさわしい 技術的な内容 現在の技術水準に照らして評価 今後の展開方向
平成 16 年度	"	"	<u>技術士としてふさわしいと思われる 1 事例</u> を挙げ、その <u>課題、対策、成果などについて技術的視点から説明するとともに、</u>	<u>現在の技術水準から見た評価と今後の展望</u> を述べよ。	専門とする事項 責任者又は担当者として取組んだ業務 技術士にふさわしい 課題、対策、成果などについて 技術的視点から説明 現在の技術水準から見た評価 今後の展望

問題 - 2 - 1 (2 枚)			
平成 11 年度	次のテーマの中から 1 つ選び、 <u>農業土木技術の役割及び展開方向</u> について、 <u>あなたの意見</u> を述べよ。	<ul style="list-style-type: none"> (1) 農業生産性の向上 (2) 中山間地域の振興 (3) 農業農村の多面的機能の維持 (4) 農業農村の高度情報化 (5) 開発途上国の技術協力 	農業土木技術の役割 展開方向 あなたの意見
平成 12 年度	次のテーマの中から 1 つ選び、 <u>農業土木技術の役割及び展開方向</u> について述べよ。	<ul style="list-style-type: none"> (1) 農業生産性の向上 (2) 中山間地域の総合整備 (3) 農業農村の国土・環境保全機能 (4) 開発途上国の農業農村開発 (5) 農業土木工事におけるコスト縮減 	農業土木技術の役割 展開方向
平成 13 年度	農業農村整備事業の新たな展開に当たって、次のテーマのうち 1 つを選び、 <u>農業土木技術の役割及び展開方向</u> について、あなたの考えを述べよ。	<ul style="list-style-type: none"> (1) 高生産性農業展開のための優良農地の確保又は整備 (2) 中山間地域の農業農村整備 (3) 農村整備及び自然環境の保全又は整備 (4) 国土の防災又は保全 (5) 開発途上国の技術協力 (6) 農業土木工事におけるコスト縮減又は新技術 	農業土木技術の役割 展開方向
平成 14 年度	次のテーマの中から、1 つ選び、 <u>農業土木技術の役割及び展開方向</u> について、あなたの考え方を述べよ。	<ul style="list-style-type: none"> (1) 農業生産性の向上のための生産基盤の整備 (2) 中山間地域の振興と整備 (3) 自然環境との調和に配慮した農村の整備 (4) 農地保全又は防災 (5) 土地改良施設の管理と更新 (6) 発展途上国への農業農村開発協力 (7) 農業農村整備におけるコストの縮減 	農業土木技術の役割 展開方向

問題 - 2 - 1 (2 枚)			
平成 15 年度	次のテーマの中から、1 つ選び、 <u>農業土木技術の役割及び展開方向</u> について、あなたの考え方を述べよ。	<ul style="list-style-type: none"> (1) 農業生産性の向上又は経営体の育成 (2) 中山間地域の活性化 (3) 農村の自然と景観の維持・創造 (4) 国土の防災又は保全 (5) 農業農村開発の国際協力 (6) 土地改良施設のライフサイクルコストの縮減 	農業土木技術の役割 展開方向
平成 16 年度	食糧・農業・農村に関する次の 6 課題のうち、1 つ選び、 <u>農業土木技術の役割及び展開方向</u> について、あなたの考えを述べよ。	<ul style="list-style-type: none"> (1) 効率的な農業経営のための生産基盤の整備 (2) 中山間地域活性化のための農業農村整備 (3) 自然と景観に配慮した農村の整備 (4) 農村地域の防災又は保全 (5) 開発途上国への農業農村開発協力 (6) ライフサイクルコストの縮減に配慮した土地改良施設の整備 	農業土木技術の役割 展開方向
作成論文	中山間地域の現状と 活性化 振興 整備 における 農業土木技術の 役割と 展開方向について		

問題 - 2 - 2 (2枚) × 2テーマ -1 (専門とする事項) で取り上げたもの以外で 2 つ選び解答	
平成 11 年度	(1) 水田または畑におけるかんがいの特色を挙げ、 用水計画 作成に当たり技術上留意すべき点を述べよ (2) 農用地の排水の特色を挙げ、 排水計画 の作成に当たり技術上留意すべき点を述べよ (3) ほ場整備計画のうち、特に 区画計画 について技術上留意すべき点を述べよ (4) 農地整備計画のうち、特に 土地利用 について技術上留意すべき点を述べよ (5) 農用地開発計画又は干拓計画の作成に当たり、特に 営農及び周辺環境 への影響を踏まえ技術上留意すべき点を述べよ (6) 基幹的な農道整備計画 において、路線の選定及び幅員の決定に当たり技術上留意すべき点を述べよ (7) 農業集落排水施設の 規模及び処理方式の決定 に当たり技術上留意すべき点を述べよ (8) 農地保全計画又はため池改修計画の作成 に当たり技術上留意すべき点を述べよ (9) 農業用擁排水施設の管理システムの計画の作成に当たり技術上留意すべき点を述べよ (10) 農業土木工事の 1 つの工種を挙げ、 施工計画 、施工管理又は積算について技術上留意すべき点を述べよ
平成 12 年度	(1) 水田または畑におけるかんがいの特色を挙げ、 かんがい施設計画 の作成に当たり技術上留意すべき点を述べよ (2) 農用地の排水の特色を挙げ、 排水施設計画 の作成に当たり技術上留意すべき点を述べよ (3) ほ場整備計画のうち、特に 地域特性を考慮した区画計画 について技術上留意すべき点を述べよ (4) 農地整備計画のうち、特に 混住化を考慮した土地利用計画 について技術上留意すべき点を述べよ (5) 農用地開発計画又は干拓計画の作成に当たり、特に 農用地利用の再編及び周辺環境 への影響を踏まえ技術上留意すべき点を述べよ (6) 農道 の特色を挙げ、農道計画の 路線の選定及び幅員の決定 に当たり技術上留意すべき点を述べよ (7) 農業集落排水施設の特色を挙げ、 処理方式の決定及び管理 について技術上留意すべき点を述べよ (8) 農地防災事業の 1 工種を挙げ、事業計画の作成 に当たり技術上留意すべき点を述べよ (9) 農業用擁排水施設の管理システム又は管理計画の作成に当たり技術上留意すべき点を述べよ (10) 農業土木工事の 1 つの工種を挙げ、 地域特性を考慮した施工計画 、施工管理又は積算について技術上留意すべき点を述べよ
平成 13 年度	(3) 地域特性を考慮したほ場整備計画の区画計画 について技術上留意すべき点を述べよ (4) 農地整備計画のうち、特に 景観に考慮した土地利用計画 について技術上留意すべき点を述べよ (6) 農道の特色を挙げ、特に農道計画の 路線の選定及び舗装 の決定に当たり技術上留意すべき点を述べよ
平成 14 年度	(3) ほ場整備計画の 区画計画 にあたり、特に 地域特性の面から について技術上留意すべき点を述べよ (4) 農地整備計画のうち、 土地利用計画 に当たり、特に 地域特性の面から 技術上留意すべき点を述べよ (6) 農道の特色を挙げ、 路線配置計画 の決定に当たり技術上留意すべき点を述べよ
平成 15 年度	(3) ほ場整備の 目的 を挙げ、特に 区画計画 の作成に当たり技術上留意すべき点を述べよ (4) 農地整備計画の特色を挙げ、特に 土地利用計画 の作成に当たり技術上留意すべき点を述べよ (6) 農道の特色を挙げ、 路線配置計画及び幅員の決定 に当たり技術上留意すべき点を述べよ
平成 16 年度	(3) ほ場整備の目的を挙げ、特に 経営体育成を考慮した区画計画 について技術的留意点を述べよ。 (4) 農村整備の特色を挙げ、 地域特性を踏まえた農村振興の観点から、土地利用計画 の作成にあたり技術上留意すべき点を述べよ。 (6) 農道の特色を挙げ、 路線配置計画の作成 に当たり技術上留意すべき点を述べよ。
作成論文	(1) ほ場整備計画の目的 を挙げ、 区画計画 作成にあたり、 地域特性の面から 経営体育成を考慮した 技術上留意すべき点を述べる (6) 農道の特色 を挙げ、 路線選定 路線配置計画 舗装の決定 幅員の決定 に当たり技術上留意すべき点を述べる。

問題 - 1

「平成 16 年度」

- 1) わが国の米の生産と消費の現状
- 2) 我が国の食料需給
- 3) 世界の食料需給
- 4) 農林統計などにおいて使われている農家、農業労働力
- 5) 農業経営基盤強化促進法に基づき、平成 5 年に認定農業者制度が創設された。認定農業者
- 6) 地域別の農業農村開発協力のあり方
- 7) 我が国のバイオマス（生物資源）
- 8) 発酵食品
- 9) 水質汚濁
- 10) 我が国の水田かんがい用水
- 11) 農業振興地域制度
- 12) 農村の自然環境又はその保全
- 13) 我が国のローカルエネルギー
- 14) 家畜の疾病
- 15) 世界の水資源
- 16) 家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律
- 17) 甘味料
- 18) 我が国の土地改良区
- 19) 施設園芸
- 20) 特殊栽培農産物に係る表示ガイドライン

「平成 15 年度」

- 1) 食料自給率の推移
- 2) 日本の食料需給
- 3) 食品ロス
- 4) 家畜の飼料効率
- 5) 我が国の農産物貿易の動向
- 6) 我が国の農家戸数の動向
- 7) 農業経営
- 9) 米政策改革大綱
- 10) 近年の我が国の農業分野における国際協力
- 11) 畑地かんがい用水
- 12) JAS 法
- 13) 食品や農業生産に由来する廃棄物
- 14) 家畜のふん尿のたい肥化
- 15) 世界の遺伝子組換え作物の栽培
- 16) 土壌三相
- 17) 農業・農村の多面的機能や環境の価値を評価する手法
- 18) 斜面の緑化
- 19) 水資源
- 20) 農業用水の水質や水質指標

「平成 14 年度」

- 1) 世界の穀物需給
- 2) 平成 22 年の農業構造の展望
- 3) 農業経営
- 4) 我が国の農地の現状
- 5) 農業・農村の有する多面的機能
- 6) 日本人の食生活
- 7) 我が国の水稲作付け面積
- 8) 東アジア地区の国別の農業・農村開発
- 9) 中山間地域
- 10) 水循環
- 11) 我が国と欧米先進国などにおける農業の特質
- 12) 生態系の保全
- 13) 飼料の栄養素
- 14) 水田のかんがい用水
- 15) HACCP
- 16) 病害虫・雑草防除技術
- 17) 水資源の利用とその特徴
- 18) 食品栄養
- 19) 環境保全型農業における資材、技術
- 20) 平成 22 年度の家畜の改良増殖目標及びニワトリの改良増殖目標

「平成 13 年度」

- 1) 食料自給率
- 2) 日本の農業労働力
- 3) 食料自給率を向上させるため農業生産の努力目標
- 4) 中山間地域
- 5) 農業振興地域における整備計画
- 6) 農業・農村の有する多面的機能を代替法で評価
- 7) セーフガード
- 8) 口蹄病
- 9) 加工食品の品質表示基準
- 10) 日本の農業気象災害
- 11) 管水路と開水路の対比
- 12) 途上国の農業農村開発を巡る状況
- 13) 農薬の毒性、残留性
- 14) 水質指標
- 15) 農村地域の各種廃棄物の処理、活用

問題 - 2 (3枚)		
平成 11 年度	21 世紀に向けて、日本の食料・農業・農村のあるべき姿について、あなたの意見を述べよ	
平成 12 年度	「食料・農業・農村基本法」の施行に伴い、多くの具体的課題が提起されているが、次の設問のうち 1 つ選んで、主として 技術的側面 からあなたの意見を述べよ。	(1) 農業の持続的発展 (2) 食料自給率 (3) 農業・農村の多面的機能の維持 (4) 農村活性化
平成 13 年度	「食料・農業・農村基本法」の施行に伴い、平成 12 年 3 月に「食料・農業・農村基本法」が策定された。その中で食料、農業及び農村に関し総合的かつ計画的に講ずべき 3 つの施策が明記してある。この施策のうちから 1 つ選んで、主として 技術的側面 からあなたの意見を述べよ。	(1) 食料自給率と食料安全保障 (2) 農業の持続的発展に関する施策 (3) 農村の振興に関する施策
平成 14 年度	「食料・農業・農村基本法」の基本理念や「食料・農業・農村基本計画」の施策の基本方向を踏まえ、次の課題の中から 1 つ選んで、主として 技術的側面 からあなたの意見を述べよ。	(1) 食料自給率と安全保障 (2) 農業技術の開発・普及の推進 (3) 農業の自然循環機能の維持増進 (4) 農業の有する多面的機能の発揮 (5) 循環型社会の実現に向けた農村の総合的な振興
平成 15 年度	「食料・農業・農村基本法」及び「食料・農業・農村基本計画」に定められた施策を踏まえ、次の課題の中から 1 つ選んで、主として 技術的側面 からあなたの意見を述べよ。	(1) 食の安全と安心の確保 (2) 世界の農産物需給と食料自給率 (3) 構造改革を通じた農業の持続的発展 (4) 農業の自然循環機能及び多面的機能の維持増進 (5) 活力ある農村の実現に向けた振興方策
平成 16 年度	「食糧・農業・農村基本法」の基本理念や「食糧・農業・農村基本法」の基本方向を踏まえ、次の課題の中から 1 つ選び、主として 技術的側面 からあなたの意見を述べよ	(1) 食の安全と安心に向けた取り組み (2) 世界の農産物需給の動向と我が国の食糧自給率 (3) 農業の持続的な発展と構造改革の推進 (4) 農業の有する多面的機能と自然循環機能の維持・増進 (5) 農村の有する資源の活用と地域振興方策
作成論文		

問題 -2 解析

農林水産省ホームページ

白書情報 <http://www.maff.go.jp/www/hakusyo/hakusyo.html>

平成 15 年度食料・農業・農村の動向に関する年次報告

第 章	食糧の安定供給システムの構築	
第 1 節	食の安全と安心の確保に向けた取組の推進	18
第 2 節	食料自給率と食料消費の動向	22
第 3 節	世界の農産物需給と農産物貿易交渉の動向	30
第 章	農業の持続的な発展と構造改革の加速化	
第 1 節	農業経済の動向	38
第 2 節	農業の構造改革の推進	42
第 3 節	需要に応じた生産の推進	50
第 章	活力ある美しい農村と循環型社会の実現	
第 1 節	農業の自然循環機能の維持増進	56
第 2 節	活力ある農村の実現に向けた振興方策	60

平成 16 年度 - 2 問題 600×3 枚

「食糧・農業・農村基本法」の基本理念や「食糧・農業・農村基本法」の基本方向を踏まえ、次の課題の中から 1 つ選び、主として技術的側面からあなたの意見を述べよ

(1) 食の安全と安心に向けた取り組み

(2) 世界の農産物需給の動向と我が国の食糧自給率

(3) 農業の持続的な発展と構造改革の推進

(4) 農業の有する多面的機能と自然循環機能の維持・増進

(5) 農村の有する資源の活用と地域振興方策